

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年 4月 1日 ~ 平成33年 3月31日
3. 業務の範囲	(1)養正公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)養正公民館の使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表				実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
評価項目	細目	配点	採点基準					
1 運営・利用状況 (40点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満~95% 4点	年次報告書P62.63(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H28年度実績)÷(過去5年間実績平均値)) 大ホール:37.8%(平均値比94% =37.8÷40.3%) 研修室(1):41.5%(平均値比105% =41.5÷39.4%) 研修室(2):43.5%(平均値比104% =43.5÷41.7%) 和室(1):33.9%(平均値比100% =33.9÷34.0%) 和室(2):25.2%(平均値比100% =25.2÷25.1%) 料理実習室:12.1%(平均値比100% =12.1÷12.1%)	4点	
		平均値比(101%)=利用率(32.4%)÷32.0%(上記(1)適用)						
	②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	95%未満~85% 3点	年次報告書P62.63(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H27年度実績)÷(過去4年間実績平均値)) 大ホール:17,602人(平均値比88% =17,602÷19,991人) 研修室(1):8,520人(平均値比103% =8,749÷8,245人) 研修室(2):8,749人(平均値比106% =8,749÷8,265人) 和室(1):5,532人(平均値比88% =5,532÷6,291人) 和室(2):4,782人(平均値比90% =4,782÷5,303人) 料理実習室:938人(平均値比72% =938÷1,308人)	3点	
(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点	年次報告書P65~73参照(文化事業一覧) ①公民館まつり ・養正公民館まつり 展示・バザー部門 1,000人 ステージ部門 600人 ②地域意識醸成事業 ・養正出張サロン 美坂六丁目女子会 ・「防災を考える日」養正地域連携事業 80人 ・ころあつたかクリスマスコンサート サンタさんからのおくりものスペシャル地域交流・連携事業「マリンバミニコンサート」100人 ・養正校区もちつき&かるた取り大会(地域交流・連携事業)350人	仕様書以上 14点	・地域団体や学校と連携した事業を継続的に実施することができた。 ・地域の要望に応えた出張講座については、皆勤表彰を設け、参加者のモチベーションをあげることができたおかげで、多数の皆勤表彰者を生んでいる。 ・地域の子ども会や保護者会などからの相談に応じ、イベント内容の提案、地域講師の紹介など、公民館に期待される支援が行われている。 ・防災倉庫備品の展示や防災食の試食、災害時伝言ダイヤルの体験等、個人では出来ない体験も企画されている。	14点	
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年より劣る 2~0点	年次報告書P65~73参照(文化事業一覧) ・ひよこのひろば(子育て支援) 10回 217人 ・養正こどもの大学 通年講座 8回 197人 ・養正こどもの大学 9回 347人 ・養正こどもの大学 まなびのひろば 75回 250人 ・サロン「お茶の時間ですよ」(毎週月曜日) 34回 1,600人 ・養正・滝呂元気サロン(各全21回) ・養正大人の大学 41回 2,419人ほか	期待以上 14点	・養正こどもの大学で行われた「卓球の日」では、障がいがある子どもたちといっしょに、卓球協会の協力のもと、卓球を楽しむ事業が行われ、施設関係者をはじめ、卓球協会の方にとっても大変有意義な事業となっている。 ・「懐かしのフォークソングコンサート」では、団塊世代や公民館を利用することが初めての方の参加もあり、新規利用者を発掘している。 ・お茶のじかんですよでは、養正幼稚園との年4回交流会の内、2回を幼稚園へ移動し、世代交流等を活性化している。	14点	

2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。  ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	年次報告書P75(維持管理業務) 施設内清掃(基準:毎日3回)を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			年次報告書P75(維持管理業務) ・消防設備保守点検(基準:年2回)・・・年2回実施 ・空調機器設備保守点検(基準:年4回)・・・年4回実施 機械警備業務を委託して実施(毎日)。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			年次報告書P75,76(有償修理の内訳) 有償修理 全16件 総額 542,645円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			館内及び敷地内、第二駐車場の巡視点検(毎日)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			市に準拠した方法で管理している(ファイリングシステム)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	1. 安全対策、整理整頓、清潔、美化に努めた ・館内及び敷地内、第二駐車場の巡視点検(毎日3回実施) ・清掃専従員を週6日間配置し、清掃・美化に努めた ・非常階段、ポーチ、門柱などの黒ずみが著しい箇所を、職員の手作業により高水圧洗浄機 で除去し、建物の外観保全を図った(薬剤を使用しない清掃) ・第二駐車場と周辺の環境保全(職員による定期除草・溝さらい清掃) ・工事期における利用者への周知(危険エリアと安全確保、駐車場案内) ・避難経路の維持確保、消防器具およびAEDの点検、防火点検 ・環境への負荷が少ない備品を選定購入(リサイクル製品コピー機、LED照明) ・強風時の飛散物撤去と固定 2. 節電、暑さ対策として ・研修室、和室のシーリングライト、非常照明をLEDに更新 ・緑のカーテン育成(ゴーヤ、あさがお)で和室、ロビーの清涼感を保持(夏場) ・共有スペースに利用者がいない場合の空調オフや、夜間のロビーの水銀灯を50%消灯、 扇風機の活用 ・麦茶の無料提供で熱中症予防(6月～10月の毎日) 3. 資源・リサイクル対策 ・リサイクル製品のコピー機を選定購入(カーボンオフ) ・グリーン商品購入・裏紙の再利用 ・芯なし、再生紙のトイレットロール使用 4. ボイ捨て防止やゴミつまり防止のため、外溝に蓋や網を設置 5. 養正子ども大学チャレンジ隊に、環境学習のためエコカレンダーを配布し活用を推奨	期待以上 3点	適正に実施されている。 安全対策、整理整頓、清潔、美化に対する配慮が良くできている。館内が本当にきれいになった。	11点	
		②環境への配慮			・動線の確保 — 見通しのよい館内環境づくりで、混雑時の転倒事故防止 ・車椅子の更新、分かりやすい場所へ設置(玄関風除室) ・一階南側出入口スロープ前、正面玄関スロープ周辺への駐車スペース確保 ・和室1の洋式化をPRし、体の不自由な方が利用できるよう周知	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		③バリアフリー			・職員全員が以下の点に注意しながら取り扱い、異常や故障には迅速な対処をしている。 貸出備品の点検、料理室器具、電気製品、吊物備品設備の点検、絵画備品の整理 利便性や利用者ニーズに応える備品の選定、印刷機の故障防止(使用方法の説明案内、写真付き説明書作成)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④備品管理			・多治見市文化振興事業団「個人情報保護方針」に基づいている ・個人情報記載物のシュレッダー処理または処分場への持込み ・広報やHPの掲載には、了承済み或いは個人特定できない写真を利用 ・裏紙には個人情報が含まれていなか確認し、外部流出しないよう特に注意を払う	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤個人情報保護			事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点		適正な対応がされている。
⑥事故等への対応	0	事故なし	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	適正な対応がされている。	0点			
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入20,950,766円÷支出20,809,300円=100%	105%未満～100% 4点	指定管理委託料の範囲内で適正に事業が行われている。	4点	

4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・古典文学に関する定期講座の継続→大人の知的好奇心探索「古典の世界～方丈記」講座を実施。 ・美坂六丁目女子会より出張講座の依頼→10歳若返る声を出す健康法をお届けした。 ・老眼鏡の貸し出し→3本購入し、1階事務所と2階ロビーに計6本を設置。 ・良書の絵本がたくさんあるのでもっとPRしてはどうか→絵本コーナーで面出し展示を行い、新着図書は窓口のブックラックで展示紹介。 ・自動販売機の所在のお尋ね→ご利用案内の近くに、案内を表示。 ・卓球台の脚の調整ができない→脚部アジャスターを交換済み。 ・高齢の利用者様から公民館までの道路の側溝が破損して危ないとの相談→職員が現場を確認し、道路河川課に伝え修繕済み。 ・多治見市総合防災訓練内容をゆっくり体験したい→「防災を考える日」に、特設公衆電話の試験周知を兼ねて、災害時伝言ダイヤル1711体験コーナーを開設。(NTT西日本)	期待以上 8点	要望に対して、迅速かつ適正に対応している。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	・玄関脇のヒマラヤ杉が大きくなり上部が枯れている。見映えが悪いので、剪定してほしい。→業者に委託し、樹木上部の剪定を実施。(H27、H28年度も実施?) ・屋外時計の遅れ→小規模修繕が可能とわかり即修繕工事を実施。工事までの間は、調整中の表記を貼付し対応。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情に対して、迅速かつ適正に対処している。	4点
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢 上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	○健康で元気に暮らせる(健康寿命を延ばす事業への取組み) ・「養正元気サロン」:軽運動の習慣化、効果の実感 ・「健康フェスティバル」の実施(保健センター地区担当との協働):健康意識向上 ・「お茶の時間ですよ」:毎週月曜開催、生活情報提供、健康スペシャル、幼稚園児との交流 ・「防災を考える日」:地域連携事業 ○親育ち4363事業の継続で、子育て世代をサポート ・「ひよこのひろば」:未就園児と保護者の子育て支援と仲間づくり、先輩ママボランティア名を「ほかほかこっこ」と命名し、利用者がボランティアとして参加等好循環が生まれ、活躍の場(読み聞かせ・子育て相談など) ・「養正子ども大学」:地域資源のフル活用で、地域の子どもの生きる力や郷土愛を育てる ・放課後の時間の充実:「まなびのひろば」小学生対象→地域ボランティアの見守り ○地域市民の生きがいづくりで、活性化を図ります(地域貢献の機会) ・地域ボランティアの育成支援事業の継続、地域のリーダー発掘・育成へ ・サークル化を見据えた事業の推進 ・モニター制度を活用し、公民館活動への参画を促す流れを作り出す。  ○地域の防災「防災を考える日」事業の継続実施で、地域住民のつながり、顔の見える関係づくりを目指し、地域関係団体や学校との連携・協働により、地域力の向上を図る。 ○出張講座の実施 市立公民館をもたない滝呂地区での、「滝呂元気サロン」の継続をはじめ、公民館から離れている区域やニーズのある地域へ、地域づくりの協力支援を実施。 ○障がいのある方でも利用できる事業のサポートの推進	期待以上 14点	・施設環境整備により、より良い施設に整備された。 ・地域の高齢者、子ども達一人ひとりが公民館で活動でき、地域団体との連携により地域全体で事業運営ができるよう提案されている。 ・公民館活性化委員に世代交代があり、新たなメンバーが加入されたため平均年齢が若くなった。さらなる公民館の活性化を期待される。	14点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					合計86点	極めて良好
						全体的な評価 ・施設や施設の周りがきれいで清潔に保たれていることが目に見えてわかる。 ・障がいの希望を取り入れ、企画の支援等を行っている。 ・地域資源をよく理解し、フルに活用している。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。			